

2026年2月8日 顕現後第五主日礼拝説教
「塩と光であるなら」(マタイ5章13～16節)

○マタイ5章13節のみことば

「あなたがたは地の塩である。」

【直訳】あなたがたは(わたしによって)地にある塩であり続ける。

「塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。」

問：塩気がない塩とは？

- ①味付けもできず、食べ物も腐らせる役に立たぬもの
- ②救い主イエスへの〈悔い改め〉を語らない教会
- ③みことばを塞いで生き方が変わらぬ頑なな心

※キリストは、きょうも「地の塩として生きよ」と招かれる。

今日のみことば：マタイ5章14節

「あなたがたは世の^よ光^{ひかり}である。」

わたしたちも、この世に射し込む光となり得る。なぜなら…

「世の光である」イエスが、「わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ」(ヨハネ8章12節)と言われるから。

問：あなたのうちに、まことの光は輝いているか？

- a. もしそうなら、うちにある光は、どこに向いているか。
- b. そうでないなら、光を妨げているのは、なんなのか。

○マタイ5章16節のみことば

「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。」

*立派な行い：わたしたちをとおしてキリストが現わされること

※あなたを地の塩、世の光として生かす救い主イエスに
依り頼み、この方の〈よきもの〉が届けられるように。